

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	当社では外国人従業員や高齢者従業員が多く働いており、その中で差別等の言動は存在しない。またトップダウンでそのような言動の禁止を徹底している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	上記と同じく、トップダウンによりハラスメントの禁止を周知徹底している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	当社の残業時間は原則ゼロであり、長時間労働および残業はない。不足の事態にも対応出来るよう、常に人員に余裕を持たせている。								8.5 8.8									
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	当社では外国人労働者が働いているが、差別や人権侵害の禁止はもちろんのこと学習や教育などにも力を入れている。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	常にダブルチェックを行う態勢を整え、不測の自己を防いでいる。また自己が起きた際には全て報告を徹底している。				3				8									
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルスの相談窓口を設け、従業員が常に働きがいをもちて介護に当たれるよう配慮している。				3													
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	当社は外国人労働者に加え、70代以上の高齢者が4人働いている。このためダイバーシティ経営を積極的に推進している。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	当社のベテランから若手従業員へ積極的に技能継承などを行うと共に、介護に向きあう心構えなども社内でも共有している。				4	5.5			8	9								
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	当社は同一労働同一賃金の原則に沿って、常に公正な待遇を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康診断の実施や充実はもちろんのこと、有給休暇の積極的な取得やフレッシュの休みを取りやすいようにするなど、健康経営に取り組んでいる。				3				8									
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	介護において排出される医療廃棄物につき、事業者へ委託すると共に社内でも適正に管理を行っている。									11.6	12.4		14.1					
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電力メーター等に機器を取り付け、電力の平準化を行っている。これにより必要以上に電力を消費しない仕組みを構築している。								7.3			13						
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	上記の仕組みにより使用電力やピーク電力などの見える化を行い、積極的に節電に努めている。								7.2 7.3			12.4	13.3					
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	当社の業務において、有害化学物質を使用する業務は存在しないが、今後業務内でそのような場面があれば適切に対応していく。				3.9			6.3			11.6	12.4						
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	当社の業務において生物多様性や生態系へ影響を及ぼす業務は存在しないが、今後そのような業務などがあつた場合は適切に対応していく。							6.6						15				
		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	機材レンタルやリユース、また衣類の再利用など、3R活動に積極的に取り組んでいる。											12.5		14.1				
		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	電力と同じようにメーターチェックにより常に使用量を把握し、節水などに努めている。							6.4 6.6										

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	当社はISO140001等の認証制度を取得しておらず、今後も取得する予定はない。				3.9												12	13.3	14	15							
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	産官学の研究成果の公表や当社の環境に対する取り組みなどをプレスリリースやWebサイト等により公開している。																	12.6									
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	(予定)当社は再生可能エネルギーを活用する予定であるが、自社施設において現状では設置が難しいため今後の目標とする。										7.2								13								
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	当社ではエコやリサイクル素材の活用に積極的であり、3R活動と共に今後も推進していく。																		12.2	13	14	15					
22		【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄の防止について当社では社内ですべて周知徹底を図っている。																						16	16.5			
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	当社の事業において公正な競争が絡む場面は少ないが、不当な競争を行わないよう社内ですべて周知を図っている。																						16				
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	(予定)現在知的財産は取得していないが、今後特許や商標などを含めて取得を目指していく予定である。												8.2			9											
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報に関しては当社の一部役員・従業員のみが取扱いを許されており、また全従業員および役員から個人情報取扱いに関する誓約書をいただいている。																						16				
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社では紛争鉱物の取扱いにかかる業務は存在しないが、サプライチェーンを含めて今後も注視していきたい。																							16			
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	介護および病院において賄賂や規制逃れなどの誘いには徹底的に拒否することを社内ですべての方針として掲げ、サプライチェーン全体で経営方針などの認識を共有している。													5				8		10		12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	当社のサービス計画書によるサービス方針をお客様に提示し、その計画をもとにサービスを行っている。また業務のダブルチェックを行うことで安全性を徹底的に高めている。																										
29	製品・サービス	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	当社は常に人員に余裕を抱える方針を採っているため、従業員の働きがいおよび利用者様に対するおもてなしやホスピタリティの向上につながっている。																	9									
30		【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	当社では製品開発等を行っていないため、当要件には該当しない。																										
31		【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	今後訪れる高齢化社会という社会課題解決に向け、産官学を通じてサービスレベルの向上やIT活用などを行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
																												
32		【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	当社が位置する東後町は善光寺に近く、昔ながらの地域コミュニティである。このため当社でも地域とのコミュニケーションを積極的に行っている。					4								9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	国境なき医師団への寄付活動や後継者育成によるさらなる社会貢献への対応など、積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。					4											11					14	15		17
34		【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域事業者を積極的に紹介し合うなど、常に地域経済活性化の取り組みを行っている。また当社でも地域事業者との取引を積極的に行っている。													8	9		11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・ 経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	従業員に目標や夢を持たせ、経営理念や経営目標と一致させることで常に社内への浸透を図っている。													8	9										17
36		【法令遵守】 ・ 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	自己や労災につながりそうな案件も全て労働基準監督署に報告し、法令順守の考えを徹底している。																								16
37		【組織体制】 ・ 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	専門の担当者を据え、外部との連携や自社の方針を周知する体制を構築している。																								16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	常にオープンな環境を構築し、当社にアクセスしやすい体制を構築している。これによりステークホルダーとは良好な関係を築いている。																							16	17
39		【リスクマネジメント】 ・ リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	(予定)現在リスクマネジメントへの対応が万全で無いため、今後外部専門家による知見も交えながら危機管理マニュアルや組織図の再構築を図っていきたい。																								16
40		【社会的責任】 ・ CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	当社は長野市を活性化させる方針のもとで、地域貢献の取り組みなどを通じてCSRの考えを浸透させている。																								16
41		【事業継続】 ・ 事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	当社では現在本要件に該当する取り組みは行っていないため、今後事業継続力強化計画などに取り組んでいきたい。															9		11			13 13.1			16	
42		【事業承継】 ・ 事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	現在事業承継に向けて取り組み始めている。今後5年を目処に承継を行っていきたい。														8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・ 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・ 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・ 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）